

## 第 24 期 第 3 回 薬学委員会 生物系薬学分科会 議事録

日 時：平成 31 年 1 月 18 日（金） 11:30-12:30

場 所：日本学術会議 6 階 6-A 会議室

出席者：分科会委員 12 名：土井（委員長）、一條（副委員長）、井上（幹事）、

笠原（幹事）、遠藤、堅田、北林、長野、深見、藤田、三浦、山崎

事務局：中西 哲司

1. 前回議事録を承認した。
2. 次回のシンポジウム（土井委員長、資料-1）

日時：2020 年 1 月 17 日(金)、実行委員長は新井洋由委員とする。

3. 本日下午記のシンポジウム 13:00～17:00「生体イメージングから創薬へ」  
を開催する（三浦実行委員長、資料ポスター）
4. その他、学術会議の動き（遠藤委員から報告）

### 1) 学術会議幹事会からの声明について

・医学部入試における女性、浪人生への不公平な取り扱いについて

（資料 3）

- ・中国におけるゲノム編集を施された子どもの誕生について（資料4）

2) 第24期マスタープラン策定について（資料5；参考資料）

- ・2017では、「生薬・薬用植物の安定供給と開発のための基盤ネットワーク拠点の構築」が重点課題に選ばれている。
- ・2020については2-3月に公募予定、分科会から申請はしない。
- ・問題点：内閣府所轄の学術会議でありながらマスタープランの周知度が低い。他省庁も含めてもっと周知させることが重要ではないか。

5. 次次回（2021年1月）シンポジウムのテーマ

実行委員長を藤田直也委員とし、テーマは今後検討する。